

# 文章題テスト・説明／論説(4)

月 日  
名 前

★ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

とても寒い朝、校門の前の道路がおおっていました。ちこくしそうだったひろしくんは、走ってきて、すってんころりん。これを見ていたしげるくんが、「超ちようかっこわるい。」とはやしたてました。

例文の「超かっこわるい」は、ひろしくんをからかうために、しげるくんがわざとおもしろい言い方をしてみせたのでしょう。【ア】

最近の流行語として、「超きれい」「超こわい」「超おもしろい」などと、やたらに「超」をつけるのがはやっています。ものすごく、という意味で使っているようです。【イ】

給食のサラダにきれいなピーマンが入っていたときに、「超かなしい。」なんて、それほごたいしたことでもないのに、「超」ということばをつけていう人もいます。【ウ】

でも、本当は、「超」にこのような使い方はありません。【エ】

きまった言い方として、「超特急」「超高速」「超満員」「超音速」「超能力」「超党派」「超自然的」などがあります。

「超高速」は、とびきり速いということですね。「超音速」は、音速、音の速さを超える速さということですが、「超党派」は、それぞれの政党の範囲を超えて活動することです。

「超自然的」は、「超自然的な現象」などと使い、自然には起こらないようなという意味です。

また、一般に、とびきりという意味で、「超豪華」などと使うこともあります。流行語の「超きれい」「超おもしろい」などは、この使い方を応用したつもりなのでしょう。

でも、「超」ということばは、やたらに使うことばではないのです。「超かっこわるい」は、「すごくかっこわるい」もっていいねいに、「とてもかっこわるい」といえばいいのですから……。

(西本鶏介「まちがいだらけの言葉づかい」による)



1 線「路」という漢字を、ある小学生用の漢字辞典で引いてみると、次のように書いてありました。□に当てはまる、へん(部首)をのぞいた部分の画数を書きなさい。

13画	路	画
足	□	画
	学	年
	よみ	音
	訓	じ

6画

上の数字は総画数を表している。  
部首は「足(七画)」。

2 □に当てはまることばとして最もふさわしいものを、ア〜エから選んで、記号に○をつけなさい。「音速」を「音の速さ」と言いかえている。「すなわち」なども同じ働きをする。

- ア したがって      イ しかし      ウ または      エ つまり

3 この文章には次の一文がぬけています。どこに入れるのが最もふさわしいですか。文章中の【ア】〜【エ】から選びなさい。文章の流れをつかんで、最もふさわしい位置を選び。

「超」は、とびきりとか、その程度や範囲を超えとかいう意味で、熟語(二字以上の漢字を組み合わせてできた言葉)の上につけて使われることばです。

エ

4 線「このような使い方」について次のようにまとめるとき、□に当てはまることばを、文中から十字程度で書きぬきなさい。ただし、「」や「。」も一字とします。

「超」を「きれい」や「おもしろい」などのことばの上につけて、

ものすごく、という意味  
で使うこと。

3〜4行前で、最近の「超」のつくことばに対し、「ものすごく、という意味で使っているようです」とある。

5 線A「超きれい」、B「超おもしろい」のどちらか一方を、最後の段落の内容を参考にして、「超」を使わない表現に直しなさい。

(例) とてもきれい／すごくきれい  
とてもおもしろい／すごくおもしろい

最後の段落を参考にして、「超」の部分を「すごく」や「とても」にかえるとよい。

